

第3回定例会 議決結果

議会だよりでは結果のみをお知らせしていますが、詳しい審査状況などについては、会議録や委員会記録(12月上旬までにホームページ等で公開予定)をご覧ください。

◎＝満場一致で可決・認定 ○＝賛成多数で可決・認定

平成28年度 補正予算	一般会計〈反対：日本共産党、市民クラブ、荒木議員〉 病院事業会計	○ ◎
その他	工事請負契約(5件)／土地の売払い／教育委員会の委員の任命の同意(2件)／固定資産評価審査委員会の委員の選任の同意／人権擁護委員候補者の推薦(4件)	◎
平成27年度 決算	一般会計〈反対：日本共産党、小野沢議員〉／交通事業会計〈反対：小野沢議員〉 港湾事業特別会計／国民健康保険事業特別会計／自転車競走事業特別会計／奨学資金特別会計／地方卸売市場事業特別会計／介護保険事業特別会計／発電事業特別会計／母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計／後期高齢者医療事業特別会計／水道事業会計／公共下水道事業会計／病院事業会計	○ ◎

審査のながれ

9月1日 ※付託・分科会設置
本会議
9月2日 予算決算特別委員会
9月2日 (詳細審査)
総務分科会
経済建設分科会
民生分科会
9月6日 総務分科会
9月7日 経済建設分科会
9月8日 民生分科会
9月13日 予算決算特別委員会
本会議

予算決算特別委員会 9/1・9/13
分科会 9/2・9/6～8

審査の概要

議案8件を原案可決、決算14件を認定

予算決算特別委員会では、平成28年度一般会計補正予算をはじめとする議案や平成27年度各会計決算など22件について、審査を行いました。委員会は、審査をより充実させるため、議長を除く全議員が委員となり、委員会内に各常任委員会が所管する事項と同様の事項を審査する総務・経済建設・民生の3分科会を設置し、付託案件を分担して審査しました。各分科会は、各決算および議案について論点整理を行い、論点に基づく質疑により、疑義を解明した後、委員同士の協議によって態度・賛否理由を取りまとめました。その後、委員会は各分科会から審査の経過と主な内容について報告を受け、採決を行いました。各分科会の主な審査過程は次のとおりです。

総務分科会

決算2件・議案1件を審査

主な論点・疑問点等

決算第1号 平成27年度函館市一般会計
決算(総務分科会関係部分)

○歳入中 市税および 地方交付税

・増減の要因

主な理事者の説明

前年度決算と比較し市税全体が減となった主な理由は、法人市民税の税率の引き下げと、固定資産税の評価替えによる調定額の減少だが、トータルで9億円の調定額の減という状況の中で、収入率の向上に取り組み、収入額については、約5億円の減にとどまった。

また、地方交付税が前年度決算額に比べ減額となった要因について、減額幅が大きい普通交付税において、高齢者保健福祉費の単位費用増や新たに算定された人口減少特別対策費による増があったが、1人当たりの私立保育所支弁額の減による社会福祉費の減や償還費の減に伴う公債費等の減などにより基準財政需要額が減となったほか、地方消費税交付金の増に伴う基準財政収入額の増、臨時財政対策債への振替分の減による増、合併算定替の段階的な縮減の初年度による影響などが要因と分析している。

委員間の協議

3カ年連続、基金を取り崩さない決算となっており、非常に好ましい。

今後とも人口減少に伴う地方交付税の減額が予想される状況であるし、高齢化の進行による社会保障関係など、行政需要の増加により財政状況も厳しくなるので、今後も工夫をしながら歳入

の確保に努めてもらいたい。

今後も樂觀できない財政状況が続いていくと思うので、しっかりとした財政収支見直しをもって執行にあたってもらいたい。などの理由で賛成。

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成28年度函館市一般会計
補正予算(総務分科会関係部分)

○市民会館耐震等改修事業費

・利用者団体からの要望の具体化
・事業の進め方

主な理事者の説明

このたびの実施設計は、耐震等改修工事とあわせ、ロビーと楽屋間の通路や待合スペースの設置、女子トイレの増設、小ホール・大会議室・展示室の遮音など、利用者団体等からの要望事項に基づく追加工事を含めたもので、今後、実施設計を進める中で、必要に応じて関係団体とも情報交換しながら詳細な検討を行っていききたい。

また、スケジュールについては、予算案の議決をいただいた上で10月に手続を始め、その後契約審査会を経て、契約・着手をする予定である。契約期間は平成29年8月までと考えているが、改修工事に係る予算は来年9月議会に補正要求したいと考えている。

委員間の協議

耐震強度が不足している状況を考えて、耐震改修を進めるべきである。

財源や時間の問題から、今の時期では改修せざるを得ない。

改修に際して、関係団体の要望を反映し、あるいは、使い勝手のいいものにしていただきたい。などの理由で、予算の組みかえや、修正は必要なく、原案に賛成であるとの意見が多数。